

地球環境子ども村だより

No.39

令和元年 5月24日(金) 発行



元号が令和に変わり気持ちも新たに、子ども村だよりをお届け致します。5月半ば、初夏のような陽気となりました。地球環境子ども村では、つつじが満開を迎え、木々もそれぞれの個性ある若葉が芽吹いております。ミヤコグサやヤナギバウンランや珍しいユリノキも咲きはじめました。葉草原も、春の花々が満開です。

さて、自然がいっぱい子ども村では、この夏も新たな講座や催しなどたくさん企画しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。(=^・^=)

◎これまでの行事報告 (3月~4月)

亀岡生き物大学特別講座 「環境自動車教室」

3月23日(土) 午前10時~12時 参加者: 13名

講師: 京都トヨタ自動車株式会社のみな様

平成30年度最後の生き物大学特別講座です。京都トヨタ自動車株式会社のご協力を得て、未来の自動車と環境に関わるお話を聞いた後、水素を動力に変える燃料電池自動車「MIRAI」に試乗しました。交流会館前には、MIRAIとプリウスが待機、訪れる人々の目を釘付けにしています。

少し難しい元素のお話もありましたが、懸命にメモを取る子どもいて保護者も肯きながら聞いていました。特に、排気ガスの代わりに水が出来る、という点が興味を引いたようです。

試乗は、交流会館の外周道路で行われました。MIRAIに乗り込む時、ちょっと緊張しているように見えた男の子も、一周して降りるときには笑顔になっていました。



ミライの心臓部 燃料電池↑



「本当に静かですね！」と保護者の方も驚いていました。順番を待っている間、車のスケッチをしている子どもいて、自由帳の紙いっぱいにとっても上手に描いていました。

最後に、排出口から水が出るのを全員で確認、湯気が出たのでさわってみると、少し温かかったです。未来には、人と環境に優しい自動車がどんどん増えてほしいと夢が膨らみました。京都トヨタ自動車株式会社の高田様、植和田様、本当に有難うございました。

亀岡生き物大学特別講座 「タンポポ教室」

4月13日(土) 午前10時~12時 参加者: 18名

講師: 鈴木 武 氏 (人と自然の博物館)

本年度最初の特別講座は、「タンポポ教室」です。春の陽気に恵まれ、7家族18名にご参加いただきました。最初に、人と自然の博物館の鈴木武先生から、京都府で見られるタンポポの種類について、写真や実物を見せながら、詳しくお話がありました。

それから、野外観察に出かけました。今回は、幼児の参加者も多く、先生はわかりやすく説明してくれます。子どもたちも、見つけたタンポポが、カンサイタンポポかセイヨウタンポポか、見比べながら先生に次々質問していました。

子ども村の敷地から、神前の里道に入ると、自動車の心配もなくゆっくりタンポポを見ることが出来ました。たくさんのタンポポで花輪を作る子どもいて、春の野草で遊んだり、昆虫の観察をしたり、思い思いに楽しんでいる様子でした。

教室に戻り、摘んできたタンポポを使ってボトルフラワーを作りました。シリカゲルを入れ、乾燥させると1年以上タンポポの綿帽子が楽しめます。子どもたちは、リボンを結んで出来上がったボトルを、傾けないよう両手に抱え、大事に持って帰られました。



カンサイタンポポの群落 ↑



亀岡生き物大学特別講座 「薬草ツアーと薬膳料理」



4月19日(金) 午前10時～午後1時 参加者：4名

講師：森 隆治氏 (NPO 法人チョロギ村)

午前中はよく晴れて、外歩きをするのに最適な温かさ、参加者のみなさまと宮前町神前の里を、チョロギ村の森さんの案内で薬草の観察をしながら散策しました。

神前は、昔の山里の雰囲気やを良く残り、庭に植えてある木にも薬効があるものが多く、森さんは一つ一つ丁寧に効くか、どのように用いるかを説明してくれました。

また、自宅の薬草畑では、栽培している重要な薬草も見せてくれました。

春という季節がら、美しい花が随所に咲いており、花盛りのシャクナゲや、水仙に紫のムスカリなど色とりどりで、歩いている間も目を楽しませていただきました。

参加者は、「本当に良い所ですね。」「気持ちがゆったりしますね。」などと笑顔でお話なさっています。森さんにいろいろ質問したり、気になった野草を摘んでみたり、神前の春を満喫しているようでした。

散策の後は、みなさまお待ちかねの「薬膳御膳」デザート付きを、薬効の説明付きで頂きました。チョロギ村のレストラン「忘れな」は、現在春の御膳です。ヘルシーでやさしいお味がとても好評でした。



ヨモギやカキドオシなど、薬効あり↑

亀岡生き物大学 特別講座 「春の野鳥観察」

4月29日(月・祝) 午前10時～12時 参加者：15名

講師：八木 昭氏 (日本鳥類保護連盟京都)

参加者は、乳児から70代の方まで、どんな野鳥が見られるのか、ワクワクした様子でした。当日は、午後から雨の予報が出ていたので、まずは野外観察に出かけました。

野鳥の森には巣箱を設置してあります。何か所か設置した中で、ヒナが確認された巣箱を、遠くから観察した後、

実際に中をのぞいてみました。代わる代わる脚立に登って、ヒナの姿を確認しました。中には、赤っぽい生まれたてのヒナが6,7羽動いていました。後、3か所確認しましたが、卵があったはずなのに空っぽの巣箱、途中まで作った様子の巣箱と、全く巣材の無い巣箱とあり自然の厳しさがうかがえました。

教室に戻り、ここ4年間の野鳥の子育ての記録写真を見ながら、何度もエサを運ぶ親鳥の様子や、エサになる虫、巣立ちの様子まで八木氏にお話を聞きました。ここ何年も、野鳥の数が減少してきていると言われていて、原因が何かよく分っていないそうです。昨年も台風や豪雨があり、自然の災害が野鳥に及ぼす影響も、無視できないようです。最後にバードコールを作って講座は終了しましたが、野鳥の子育てはまだまだ続きます。地球環境子ども村も、引き続き、野鳥の子育てを応援しています。興味のある方は、子ども村(0771-26-6100)までお電話くださいね!



ヒナを驚かせないようにそっと覗きます↑

6月の生き物大学特別講座

① ホテル教室

～街の近くでホテルを観よう～

日時 6月7日(金) 午後7時～9時(予定)

場所 ガレリアかめおか(工作室)

② ビオトープで観察しよう!

～モリアオガエルの卵を観よう!～

日時 6月15日(土) 午前10時～12時

場所 地球環境子ども村(亀岡市交流会館)



応募要項は、さらに☆亀岡おしらせや、子ども村のホームページ、フェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。(文責：植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL: 0771-26-6100 Fax: 0771-26-5002

Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp